

マグロ類における緊急赤潮情報2

平成30年6月25日
大分県農林水産研究指導センター水産研究部

佐伯湾で有害プランクトン（ヘテロシグマ・アカシオ）が警戒密度を超えています。マグロ類の赤潮対策をお願いします。

発生場所 佐伯湾
発生期間 6月25日～
プランクトン ヘテロシグマ・アカシオ
広浦 66,850 cells/ml
守後 76,000cells/ml

※漁協・南部局の調査結果および持込海水検鏡結果より

(ヘテロシグマ・アカシオ赤潮の注意点)

- ・ マグロの場合 警戒密度：5,000 cells/ml 注意密度：500 cells/ml
- ・ ヘテロシグマ・アカシオは魚介類の斃死を引き起こす非常に有害な赤潮プランクトンです。特にシマアジに有害です。
- ・ 鉛直運動をするため午前中に海色がよくても、午後から着色し被害を発生させることがあります
- ・ パッチ状になった赤潮は潮流や風の影響で移動し、養殖、畜養中の魚介類に被害を及ぼすことがあります。
- ・ 低密度でも被害を引き起こす可能性があります。

赤潮発生場所での対応

- ・ 投餌は控える。
- ・ 赤潮海域へ魚介類を入れない。
- ・ 赤潮海域から魚介類を避難する。

